

2025 年度

大阪大学博士課程教育リーディングプログラム

超域イノベーション博士課程プログラム

内部編入試験

募集要項

本要項は大阪大学超域イノベーション博士課程プログラムのうち、Basic コース（準履修生）から Advanced コースへの内部編入を希望する者に対して、出願資格・出願方法・選抜試験の進め方などを示しています。

Advanced コースへの出願に際しては、ホームページ（<https://www.cbi.osaka-u.ac.jp/>）に掲載されている「プログラム案内」と「教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー」を参照してください。ただし、出願に関係しないページの内容については、2025 年度以降の履修生には適用されない（2024 年度までの）内容も含まれています。

なお、出願においては 2025 年度 4 月以降の指導教員とよく相談をし、必ず指導教員の下承を得てください。

1. 出願資格について

超域イノベーション博士課程プログラム（以下、「本プログラム」）の Advanced コースの履修を希望する者は、出願をした上で Advanced コース履修生内部編入試験（以下、「内部編入試験」）を受け、これに合格しなければなりません。なお、他の博士課程教育リーディングプログラムおよび卓越大学院プログラムと重複して本プログラムの Advanced コースを履修することはできません。

1.1. 出願資格※1

内部編入試験の出願資格を有する者は、下記の 1 および 2 を満たす者とします。

1. 2025 年度 4 月時点、準履修生として副専攻プログラム「超域イノベーション副専攻プログラム」もしくは、高度副プログラム「超域イノベーション高度副プログラム」を修了見込みの者。
2. 2025 年度 4 月時点、下表に記載されている本学の研究科※2・専攻・課程に、博士後期課程 1 年次あるいは 5 年制博士課程および 4 年制博士課程の 3 年次として在籍する見込みの者、修士課程（医科学専攻）在籍時に本プログラムの Basic コースを履修した者であり、2025 年度 4 月時点で博士課程（医学専攻）1 年次として在籍する見込みの者。

ただし、休学履歴がある者※3、長期履修制度を利用している者（利用予定を含む）は個別に出願資格の有無を判断しますので、出願受付開始までに事務局へお問い合わせ下さい。

課程	研究科・専攻※4
博士後期課程	人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科（創成薬学専攻）、工学研究科、基礎工学研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科
博士課程	医学系研究科（医学専攻）、歯学研究科、薬学研究科（医療薬学専攻）、生命機能研究科

※1 本条件を満たす場合であっても、同一研究科の同一課程において過去に本プログラム Advanced コース選抜試験を受験した経験がある場合、2 度目の受験はできません。

※2 高等司法研究科には出願対象となる課程はありません。

※3 2024 年度以前に博士後期課程あるいは 5 年制博士課程、4 年制博士課程に入学した者で、入学後から出願時点までの期間に休学履歴がある者、入学後から出願時点までの期間を休学しており、2025 年 3 月末まで休学予定の者に関して、個別に出願資格の有無を判断します。

※4 専攻の記載のない研究科ではすべての専攻が該当します。

2. 募集定員

若干名

3. 経済支援

3.1. 本プログラムにおける経済支援

(a) 授業料免除

本プログラム Advanced コース履修生について、別途審査のうえ授業料の納付を全額免除します。

(b) カリキュラム内活動経費

本プログラムにおける活動経費として以下が割り当てられます。

- ・ 自主実践活動における個人活動経費（別途審査有り）
- ・ 超域イノベーション総合におけるチーム活動経費
- ・ グループ型自主活動支援（別途審査有り）

いずれも本プログラム教員の指導のもとに執行いただきます。また、その他国内外での実習が実施される場合には、渡航費、参加費等を本プログラムが負担します（食費等は個人負担）。各授業等の詳細は本プログラム HP(<https://www.cbi.osaka-u.ac.jp/teaching/innovation/>)をご参照ください。

(c) 給付型奨学金（生活費支援）

本プログラムと研究活動の両立をサポートするため、別途審査のうえ給付型奨学金を支給します。Advanced コース履修生については次世代挑戦的研究者育成プロジェクトに原則全員申請をします。次世代挑戦的研究者育成プロジェクトに不採択となった場合、給付型奨学金を支給することとなります。支給金額は年度毎に決定します。JSPS 特別研究員(DC)研究奨励金等との重複受給は不可となります。

4. 選抜に関する日程

出願受付期間	2025年1月6日(月)～1月15日(水)12:00
書類審査期間	2025年1月16日(木)～21日(火)
合否通知	2025年2月6日(木)予定(個別連絡) ^{※5}
合格者書類提出期限	2025年3月中旬予定(別途案内)
履修開始	2025年4月4日(金)

※5 書類審査の結果は、受験者情報に登録されたメールアドレスへ通知します。2025年1月30日(木)を過ぎても結果通知が届かない場合は、超域イノベーション博士課程プログラム事務局（連絡先は末尾を参照）までお問い合わせください。

なお、以下の事項に注意してください。

- (1) 障がい等がある者で、受験や履修に際して特別な配慮を希望する場合には原則として2025年1月10日(金)までに問い合わせ先(P.11参照)へご連絡ください。なお、対応の検討に時間を要する場合がありますので、可能な限り早期のお問い合わせをお願いいたします。
- (2) 合否通知は個別連絡にて行います。なお、合否の理由等、選抜結果に関する問い合わせには一切応じられません。

5. 出願手続

5.1. 出願受付期間

2025年1月6日(月)～1月15日(水)12:00【締切厳守】

5.2. 出願方法

以下(1)～(2)の事項全てを出願受付期間内に完了してください。

(1) 受験者情報の登録【Formzu (WEB フォーム)】

受験者は以下の URL から必要情報を入力し、送信してください。送信後、受験番号が記載された返信メールが登録したメールアドレス宛に届きます。メールが届かない場合、迷惑メールフォルダもご確認ください。また入力・送信を複数回行った場合、原則として最新の送信内容を採用します。なお、受験者情報には出願理由の記入を含みますので、出願受付期限に留意し、余裕を持って登録してください。

受験者情報 登録 URL <https://ws.formzu.net/dist/S23171131/>

(2) 指導教員の履修承諾書の提出【Formzu (Web フォーム)】

受験者は(1)の登録後、学籍番号と下記 URL を指導教員へ知らせ、必ず出願受付期間内に履修承諾書を提出して頂くように依頼してください。

指導教員の方は以下の URL から履修承諾書を登録してください。

指導教員の履修承諾書 登録 URL <https://ws.formzu.net/fgen/S90193073/>

5.3. 諸注意

出願にあたっては、下記の各事項に注意してください。

- (1) 出願内容に重大な不備がある場合は受理できません。
- (2) 受験者情報の登録は日本語で記載してください。
- (3) Web フォーム登録完了後のデータ差し替えや記載事項の変更は認めません。
- (4) 登録内容に虚偽の記載があった場合は、合格決定後であっても履修の許可を取り消すことがあります。
- (5) 書類審査の対象は、受験者情報(出願理由を含む)、指導教員の履修承諾書、成績^{※6}となります。成績証明書の提出は不要です。

※6 超域イノベーション博士課程プログラム Basic コースでの取得単位を基に評価を行います。

6. 検定料

不要(ただし、通信費等受験に必要な費用は自費となります)

7. 履修手続きについて

本試験の合格者が本プログラム Advanced コースを履修するためには所定の履修手続が必要となります。なお、本プログラムを履修することによる追加の入学料・授業料は必要ありません。履修手続きの詳細は合格者に別途連絡します。合格発表後、3 月末までの可能な限り早い時期に大学院入試の合格を証明できる書類(写し)^{※7}を提出してください。

なお、本プログラムの授業は基本的に金曜日に設定されています。金曜日に授業を受講可能であることをご確認のうえ出願してください。

※7 大学院入試の合格を証明できる書類(写し)、あるいは、5 年制博士課程および 4 年制博士課程の者で在籍を証明できる書類(写し)の提出を確認できない場合、本プログラムの編入試験に合格した場合であっても、履修の許可を取り消す場合があります。

8. 備考

本試験において取得した個人情報は下記のように取り扱います。

- (1) 出願時に提出された個人情報は「履修者選抜(出願処理、試験実施)」、「合格発表」、「履修手続」等の業務および本プログラムに関する業務を行うために利用されます。
- (2) 履修者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析及び履修者選抜方法の調査・研究のために利用されます。
- (3) 上記(1)及び(2)の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

【 各種問い合わせ先 】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1
大阪大学 産学共創 D 棟 2 階
超域イノベーション博士課程プログラム 事務室
E-mail: selection@cbi.osaka-u.ac.jp